

# 社会教育指導員の部屋

2023.2月

生涯学習課 社会教育指導員 浅沼 芳子

## 望月少年自然の家で自然観察 「佐久市ジュニアリーダー研修」

ジュニアリーダー研修とは・・・生涯学習課青少年係の事業で、佐久市内の小学校から公募した5・6年生を対象に年間15回行われています。

この研修は、子どもたちの生活体験・自然体験・社会体験の不足が指摘されている中で、多彩な体験機会を設け、「生きる力」を持った人間性豊かな子どもの育成を目指しています。また、市内各地区から研修生が集まり、一緒に活動することにより、広範囲の友達をつくと共に、子ども会等のリーダーとなることを目的としています。

今年度（令和4年度）のジュニアリーダー研修では、望月少年自然の家で野外研修を行う機会が2回ありました。1回目は8月6日、2回目は11月12日です。野外研修では、夏は“カヌー”と“マレットゴルフ”、秋は“アスレチック”と“テントの張り方”を体験し、さらに夏秋とも“自然観察”を行いました。私は、その自然観察の講師を担当しました。

望月少年自然の家は標高1258mの地にあり、建物の周りにはカラマツと広葉樹が混在した林が広がっています。マレットゴルフコースやフィールドアスレチックの施設、またテントサイトや野外炊飯場も備えているため、市内小学校のキャンプや登山行事に多く利用されています。つまり、ジュニアリーダー研修生には既になじみ深い施設と言えましょう。

でも、せっかく自然環境に恵まれた施設です。レクレーションを楽しむだけでなく、もっとどっぷり自然に浸かってほしいな、自然に浸る快感を味わう体験をしてほしいなという思いを込めて、「自然観察」を行いました。

## 『夏の自然体験』

自然観察の第一歩は、「興味を持つ」です。その意識をちょっとでも持てるようにするため、事前に研修生にはプリントを配布しておきました。



キーワードは「なぞ解きとプロファイリング」。子どもたちにはクイズ番組や推理アニメでおなじみの言葉かと思います。なぞ（疑問）を見つけ、証拠を集め、調べ、推理し、解決する。このやり方は実は、自然科学の思考方法として最も基本的なものです。だけど、しかつめらしく考える必要は全くなし。ジュニアリーダー研修生たちにはとにかく楽しく自然観察に取り組んでほしい。ですので、楽しめる仕掛けを用意しました。それは・・・

## ビンゴゲーム！

①～⑧と★のマスを班ごとに埋めていきます。

### 《設問》

- ①班員の健康観察をしよう。みんなの様子をはあくするのはリーダーの重要な任務です。
  - ②目をつむって太陽の方向や風向きを感じてみよう。自分の体をセンサーにするのだ。
  - ③クイズです。今、ここの気温は何度？ ±2℃以内だったらアタリ！
  - ④みんないっせいに水分補給。リーダーは自分の体調管理も大事だよ。
  - ⑤キノコを2種類さがして特徴を書こう。絵でもよい。（色・形・はえ方・・・）
  - ⑥自然の中にあったらイヤなものを考えてみよう。ここには、あるだろうか？
  - ⑦生き物がいる証拠を見つけよう。どんなものが見つかったか言葉や絵でかこう。
  - ⑧どこかに花が咲いているかな？ どんな色でどんな形？ どこにあった？
- ★自然観察した中で、班のイチオシを決めて言葉や絵でかいてみよう。

ビンゴゲームの形式をとってはいますが、全マス埋めるのが目標です。それでは班のみんなで話し合いながら完成させたビンゴカードをご覧ください。鉛筆書きをスキャンしたので見づらいのはご容赦くださいな。



まず手始めに視覚から。宿泊棟の玄関脇にあるシクナゲの芽を観察します。よく見ると芽には大小2種類ある事に気づきます。なぜなのかな？目で見た情報から考え、思ったことを言い合います。「日の当たり方が違う」「大きい方は栄養がたくさん行った」「花が咲く方が大きい」たくさんの意見が出て来ました。3つ目の意見が正解です。花芽と葉芽の違いでした。よく見て考えるという楽しさを感じてもらえたでしょうか。



自然観察のルートは、より季節の変化を感じられるよう8月の時と同じにしました。夏には茂っていた木の葉がすっかり落ちていたので枝先の様子も良く見えます。8月に観察した「葉になるべく多く光が当たるように、隣り合った木は枝先が触れ合わないよう互いにけん制し合って伸びている」ことも更にわかりやすくなっていました。

「落ちた葉っぱは、その後どうなっていくのかな。」

「土になる！」「本当かい？」

ということで、地面に積み重なった葉をめくりながら白いシートの上に並べてみます。掘っていくにつれ、だんだん細かくなっていく葉っぱ。7センチほど掘ったところで土が現れました。本当に葉っぱは土になるんだね。



このように感覚を十分に使った観察の体験をすると、その自然や景観に対する感覚の解像度が上がります。もう、こちらから言わずともキノコも見つけるしヤドリギも目に付くし、鳥の声も、落ち葉を踏む感触も楽しめました。

ジュニアリーダー研修の中で行う自然観察は、一回が45分程度とかなり短い時間です。しかし、この限られた時間の中でも、観察するということの意義を知ってほしいし、なにより佐久の自然に親しんでもらいたいという思いでプログラムを組み立てています。研修生の皆さん、大人になっても自然に親しむ心を忘れないでね。



クリアファイルに落ち葉を挟んで画用紙で縁をつけたらあっという間に素敵な額が出来上がり。お家の方へのお土産になりました。